

第35号議案

「書物復権11社の会セミナー「女性編集者と学生が語る『本』をめぐる業界の今！」の後援
名義使用承認について

上記の議案を提出する。

平成30年9月6日

提出者 文京区教育委員会

教育長 佐藤 正子

別記様式第1号 (第6条関係)

文京区教育委員会 共催・後援 名義使用申請書

平成30年8月20日

文京区教育委員会 殿

申請者 (申請団体) 跡見学園女子大学

住所 (所在地) 東京都文京区大塚 1-5-2

代表者名 (ふりがな) かさはら きよし

学長 笠原 清志

代表者連絡先 (事務担当者) 跡見学園女子大学図書館 課長 貴堂 直

下記事業を実施するに当たり、文京区教育委員会 共催・後援名義を使用し、申請します。

記

事業名	書物復権11社の会セミナー「女性編集者と学生が語る『本』をめぐる業界の今！」		
実施期間	平成30年 10月22日 (月) 18:30~20:30 (1日間)		
実施場所	跡見学園女子大学文京キャンパス		
事業内容	目的※	電子化が進む出版業界で、紙の「本」は今後どうなっていくのか。「本」の未来をともに考えるセミナー。跡見学園女子大学図書館は文京区民に図書館を開放しており、文京区立図書館利用者は、本学図書館を利用可能である。こうしたことから地域の住民の方で「本」に関心のある方々にも参加いただきたいと考えている。	
	内容	実際に学術出版の最前線で編集業務に係る女性編集者をお呼びして、「本」に興味のある学生 (本学図書館ボランティア) が疑問・質問を提出して、出版業界の現状を知るとともに今後を考察する。	
	対象者	150名 (参加予定人員150人) 学外一般100名	
	参加費	無料	
他団体の共催、後援等 (申請中、承認済の別)	日本図書館協会 (申請計画中)		
備考			
申請書類一式は、教育委員会会議資料として、HP等で公開いたします。 公開することに <input checked="" type="checkbox"/> 同意する <input type="checkbox"/> 同意しない			

※「目的」は、教育委員会が後援するに当たり、「区立幼・小・中の児童・生徒にとって、どのようなメリットがあるのか」という視点で記載してください。

平成30年8月20日

跡見学園女子大学

講演会名称：書物復権11社の会セミナー
「女性編集者と学生が語る『本』をめぐる業界の今！」(事業の実施要綱)

企画趣旨：あらゆる業界の電子化が急速に進行し、「旧メディア」はその存亡すら危ぶまれている。出版業界、図書の世界でも電子化の波は、在来のメディアを置き去りにしようとしている。

しかし、「本」や「紙の雑誌」はその使命を本当に終えたのだろうか。

「本作りの最前線」、しかも「学術出版」という伝統的な業界の今はどうなっているのか？経験豊かな学術出版の女性編集者をお呼びして、「本」に興味を持つ「学生」「市民」のみなさんに現状をお話していただく。

また、本学学生で「本」に興味のある学生も加わり、就職を控えた学生の参考にすることを期す。

日時：平成30年10月22日(月曜日)午後6:30~8:30

場所：文京キャンパス(教室未定)〈応募人数により変更〉

出席者：〈編集者〉愛宕裕子(あたご ひろこ)氏(岩波書店児童書編集部 編集長)
菅家千珠(かんげ かずみ)氏(白水社編集部 部長代理)

〈学生〉図書館ボランティア3,4年生 約7名

コーディネーター：矢島新(図書館長)

主催：跡見学園女子大学、「書物復権11社の会」

協力：跡見学園女子大学就職課

対象者：本学学生、図書館協定大学学生(お茶の水女子大、日本女子大、十文字学園女子大学)、文京区学生ほか一般

*予め、本学に質問項目を募集し、図書館ボランティア学生が編集者に質問し、それをもとに質問、議論する。

*申し込み メールもしくははがきで2名まで

①氏名 ②住所 ③メール ④2名以上のかたはその旨

*本講演会の出席者は本学図書館長および学生であり、外部講師も「書物復権11社の会」会員のため講師料等は発生しないため、事業予算は特別に組んでいない。

《書物復権》イベント

《書物復権》の会とは？

出版社 11 社による共同復刊事業。ベストセラーや文庫本、新書に押され、書店の店頭から消えていくことの多い人文系専門書の普及策として、品切のまま重版できずにいる古典や基本書を、読者のリクエストをもとに、よみがえらせようとする企画。1997 年の初回開催以来、復刊された書籍は 600 点以上にのぼる。近年は、『本の力』をテーマに、読書離れの目立つ、次世代読者へ少しずつでも「知の継承」に理解を示してもらえようなセミナーイベント等を企画・開催している。

※加盟出版社：岩波書店・紀伊國屋書店・勁草書房・青土社・創元社・東京大学出版会・白水社・法政大学出版局・みすず書房・未來社・吉川弘文館

●2012 年 ブックハンティング+セミナー

・ 7 月 5 日（木）東京国際ブックフェア

『『本の力』～次世代読者に向けて～ 『本』との出会い、変化する読書環境のなかで～』

司会：持谷寿夫（みすず書房）

パネラー：永江 朗氏・柴野京子氏

●2013 年 ブックハンティング+セミナー

・ 7 月 3 日（水）東京国際ブックフェア

『『本の力』～次世代読者に向けて～「辞書の編集について」～』

司会：南蛇楼綾繁

パネラー：平木靖成（岩波書店辞典編集部）・岩堀雅己（白水社語学編集部）

●2014 年 ブックハンティング+セミナー

・ 7 月 2 日（水）東京国際ブックフェア

『『本の力』～『本の現場でなにが起こっているか』～学術書の創り方、人文書の編み方～』

司会：橋元博樹（東京大学出版会）

パネラー：小林直之（東北大学出版会）・江坂祐輔（春秋社）

●2015 年 セミナー

・ 5 月 29 日（金）京都産業大学 雄飛館ラーニングコモンズ 2F パフォーミングスペース

『本づくりの現場から～出版社の仕事と本ができるまで～』

パネラー：永沼浩一（岩波書店新書編集部編集長）・栗原一樹（青土社「現代思想」編集長）・田崎洋幸（みすず書房取締役営業部長）

・ 5 月 30 日（土）武庫川女子大学附属図書館 中央図書館 2F グローバルスタジオ

『大学図書館と出版社の現場から』

司会：橋元博樹（東京大学出版会販売局局長）

パネラー：永沼浩一（岩波書店新書編集部編集長）・栗原一樹（青土社「現代思想」編集長）・
田崎洋幸（みすず書房取締役営業部長）

・7月2日（水）東京国際ブックフェア ブックハンティング+セミナー
『『本の力』～『「本」がつくる新たな学びの空間』～』

司会：橋元博樹（東京大学出版会）

パネラー：川崎安子（武庫川女子大学附属図書館）・土橋由明（大阪大学出版会）

・10月1日（木）大正大学

『本はどのように作られ、そして読者へ届くのか～出版社の現場：企画から営業・販売まで』

司会：片山伸治（吉川弘文館）

パネラー：永沼浩一（岩波書店新書編集部編集長）・竹園公一朗（白水社編集部）
・堤 崇志（吉川弘文館編集部）

・10月2日（金）学習院大学

『本づくりのウラガワ～プロが語る出版現場～』

司会：片山伸治（吉川弘文館）

パネラー：永沼浩一（岩波書店新書編集部編集長）・竹園公一朗（白水社）

●2016年 セミナー

6月17日（金）日経印刷グラフィックガーデン 印刷会社見学+セミナー
『本はどのように作られ、そして読者へ届くのか～出版社の現場から～』

司会：小山英俊（白水社）

パネラー：小松美香（東京大学出版会編集局長）・菅家千珠（白水社編集部）

●2017年 セミナー

10月7日（土）日比谷コンベンションホール（大ホール）

『変化する図書館と〈出版〉』

第1部 基調講演「図書館は変わる！知と人をつなぐために」

① 河合 郁子（千代田区立千代田図書館）

外部連携による企画展示と特別コレクションの活用

② 川崎 安子（武庫川女子大学附属図書館）

学生ニーズにこたえた MWU 電子図書館の構築と活用

第2部 パネルディスカッション 「変化のなかの図書館と出版社：競合か、協働か？」

河合 郁子（千代田区立千代田図書館）

川崎 安子（武庫川女子大学附属図書館）

持谷 寿夫（みすず書房）

橋元 博樹（東京大学出版会）【コーディネーター】

職位	所属学科	タイトル	氏名
学長	マネジメント	教授	笠原 清志
副学長	人文	教授	神山 伸弘
副学長	マネジメント	教授	イシカワ カズ
文学部長	人文	教授	泉 雅博
マネジメント学部長	生活環境マネジメント	教授	宮崎 正浩
観光コミュニティ学部長	観光デザイン	教授	靄 理恵子
心理学部長	臨床心理	教授	野島 一彦
全学共通科目運営センター長	マネジメント	教授	鷹 咲子
図書館長	人文	教授	矢島 新
教務部長	現代文化	教授	横山 太郎
学生部長	マネジメント	教授	曾田 修司
就職部長	観光デザイン	教授	村上 雅巳
入試部長			中島 伸次
法人事務局長			布留谷 正幸
事務局次長			詫磨 学
情報メディアセンター長	マネジメント		イシカワ カズ
花隈記念資料館長	人文	教授	村田 宏
心理相談所長	臨床心理	教授	野島 一彦
地域交流センター長	コミュニティデザイン	准教授	土居 洋平

